

第1学年 理数コース 海洋生物観察実習について

8月20日(火)～8月22日(木)の3日間、山口県下関市の水産大学校にて海洋生物観察実習が実施されました。3日間とも天候に恵まれ、水産大学校の先生方をはじめ、多くの方々のご協力により、貴重な体験をさせていただくことができました。



20m×3回の地曳網を引きました



網にかかった生物を丁寧にバケツに移しました



アマモの特徴を探しています

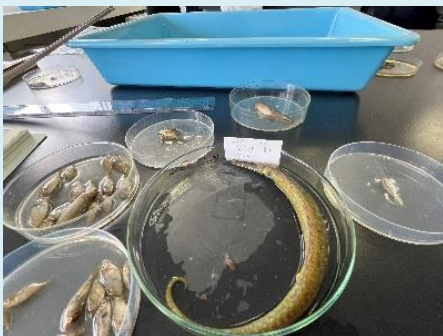
1日目は、水産大学校の前海（吉見湾）に入り、岸から70m付近までメジャーを伸ばして、アマモの分布調査やアマモ場に生息する生物の採集等を行いました。海に入ること自体が初めての生徒も多く、難しさを感じることも多かったようです。クラゲがたくさん泳いでいたり、イカに墨を吐かれたりと、いろいろな出来事がありましたが、水産大学校の先生方やTAの学生のご指導のおかげで、安全に作業を終えることができました。



フローチャートで同定しています

2日目の午前は、採集したアマモの観察・スケッチを行いました。葉や根の特徴・規則性をじっくりと観察する中で、アマモの体のつくりが海の中で生育するのに適したものとなっていることを学びました。

2日目の午後は、採集した様々な生物の同定（生物の種名などを特定すること）を行いました。数十ページにわたるフローチャートや図鑑を用いての作業になったため、生物の種類が多さや特徴の細かさ、専門用語の難しさなどに苦戦し、中には一つの種の同定に1時間半もの時間を費やすこともありました。



色々な生物がとれていました



最終発表の様子

3日目は、これまでの調査についてまとめ、発表を行いました。発表後の質疑応答では活発な議論も見られ、最後の最後までしっかり思考を巡らせていました。見やすく、分かりやすい資料の作り方はもちろんのこと、考察に客観性をもたせる方法など、今後の研究活動に生かせることをたくさん学ぶことができました。